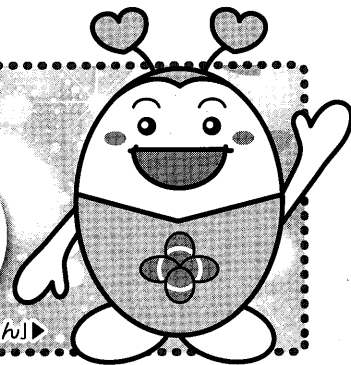


第73号 令和2年12月発行

ボランティアだより

大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター 愛称「ふくしのピロロちゃん」▶

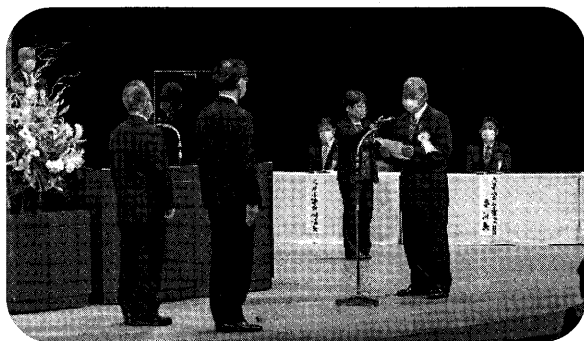


支え合って 共に生きる みんなが主役のまちづくり

11月18日(水) J:COMホルトホール大分 第51回大分市社会福祉大会を開催しました



毎年、社会福祉に携わる関係者、市民やボランティアなどの皆様が多数参加して行われる社会福祉大会ですが、今大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会規模を縮小し、被表彰者等155名の方が参加して式典を行いました。表彰式では、永年社会福祉の発展に貢献された38団体・158個人の代表8名に表彰状及び感謝状が贈呈されました。



被表彰者代表謝辞



代表受領者の方々



大会宣言

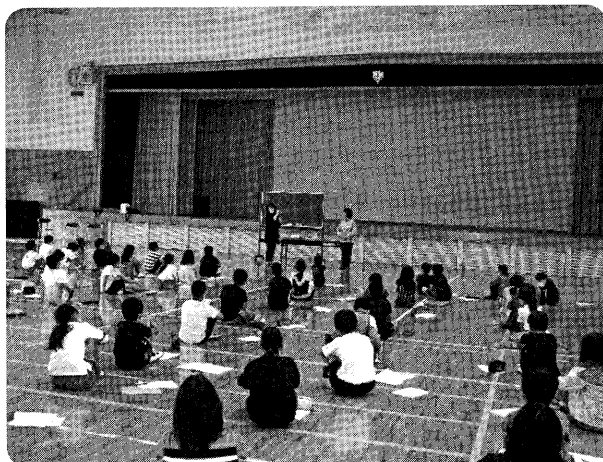
最後に、大会宣言において、地域の様々な課題に対して、全ての住民が安心安全に暮らせる地域社会の実現を目指して、一丸となって取り組んでいく決意が新たにされました。

「福祉教育支援事業」 の取り組み

大分市社会福祉協議会では、福祉教育支援事業として、市内の小中学生に対して、「体験」を通じ理解を深めてもらうために、福祉学習講座を実施しています。

障がいのある方の生の声を聞くことや各種関係団体のご協力のもとに、手話の講師等を派遣していただき、「体験」することで、気づきから意識の変化を促し、共に考え行動するという福祉の役割りを学習する目的で行っています。

本年度は市内の13の小中学校で福祉学習講座を実施しました。新型コロナウイルスの感染防止の留意事項を確認していただき、いろいろな難しい状況が考えられましたが、それぞれ工夫をする中でしっかり取り組むことができました。



<感想文より>

○わたしのお母さんは耳の聞こえない人といっしょにバレーをしています。お母さんに手話を教えてもらって、手話はむずかしいなぐらいしか思っていなかったけどAさんの話を聞いて手話は耳の聞こえない人には大切だということがわかりました。手話のほかにも身ぶりや筆談、手話以外のコミュニケーションのとりかたを教えてくださいました。たのしかったです。

○盲導犬はすごいと思いました。ふつうの犬は止まれと言って止まるけど、盲導犬は自分で止まるのです。そして、盲導犬だけでなく、視覚障がいの方もすごいと思いました。ぼくは、行きたいところに盲導犬がつれて行ってくれると思っていたけど、本当は視覚障がいの方が道を覚えて、正確にじじしないといけないということを聞いて、すごいなと思いました。今日の勉強を思い出して、少しは手助けできるようにがんばりたいです。

朗読ボランティア養成講座



つながる中で生きがい求めて



コロナ禍の中での募集になり、講座の開催が危ぶまれましたが、40名を超える応募がありました。新型コロナウイルスの感染予防対策の立場から15名で本年度の「朗読ボランティア養成講座」がスタートしました。

NHKのアナウンサーをされていた島田稔先生のご指導の下、発声などの朗読の基本を学び、終了後は今のグループで朗読のボランティア活動をしていく予定です。

ボランティアグループの活動紹介

大分市ボランティアセンターには、様々な分野でボランティア活動をする団体や個人の方々が登録されています。

令和2年12月末現在の登録者数 296団体 8,826人 個人 462人

(大分市ボランティアセンターのホームページにグループ名簿が公開されています)

大分おはなしボランティア協会

私達は大分市民図書館の読み聞かせ養成講座を経て社会貢献を目的に活動しています。

対象は乳幼児から高齢者までで、各施設からの依頼に約50名の会員が出向いています。聞き手から笑い声やため息の反応があるのが一番うれしい瞬間です。

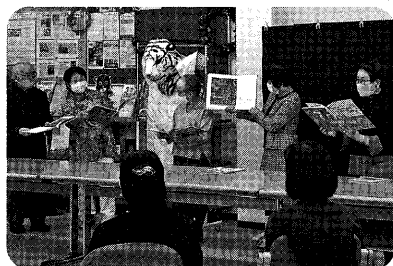
読むのは主に絵本ですが神羅万象多岐にわたる分野に絵本が存在していて無限の魅力に満ちています。それを聞き手に伝えるための勉強会で意見交換できる仲間の存在も貴重です。パネル、エプロン、手袋シアター、紙芝居、

手遊び歌も入れ、お話会に変化をつけます。フェイスブックで絵本の紹介もしています。読み聞かせに興味のある方、勉強したい方、子供を本好きにしたい方、ライフパルでお話し会を開いています。子供大歓迎です。

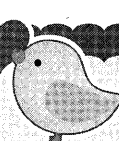
●毎月第2土曜日

午後2:00～3:00 (コロナのためメールか電話で要予約) 20名まで

代表 三宅 桂子 TEL 070-6670-0721



こども食堂「ひよこレストラン」



「お腹をすかせた子や、さみしい思いをしている子の役に立てることはないか。」それが、ひよこレストランを始めようと思ったきっかけです。ひよこレストランは、毎月1回コンパルホールで開催しているこども食堂です。

大分市には現在23か所のこども食堂がありますが、中心部には予約なしで気軽に行ける所が少ないと言う事を知り、それならば自分たちで立ち上げようと今年の8月から始めました。食堂だけでなく遊び部屋や勉強部屋も併設し、学年や学校に関係なく交流ができるようにしています。

毎回の平均参加人数は約50名。11月は68名の参加がありました。こども食堂として考えるとかなりの人数です。ひとりで来る子や友達と来る子、3～4人の子供を連れてご家族、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に来る子など、様々です。市の助成金のみでの運営は大変厳しいですが、その中でひとりでもお腹をすかせた子やさみしい思いをしている子がいたとしたなら、私たちは続けていく意味があると考えています。

代表 外山 (ひよこレストランTwitterアカウント @hiyoko_resut)



お知らせ

❄ 余っている食べ物を困っている人に! ❄

フードドライブ(食品持ち寄りキャンペーン)にご協力をお願いします

フードバンクおおいたでは『「もったいない」を「ありがとう」に』を合言葉に、ご家庭で眠っている食品を寄付していただく、「第10回大分県下一斉フードドライブ」を実施します。

「フードドライブ」とは、家庭などで余った食料品を持ち寄り、子ども食堂や「食」にお困りの方等を支援するための活動です。

～ご寄贈いただきたいもの～(持込・郵送可)

食品

(賞味期限が1か月以上あり、パッケージが開封されていないもの)

お米(昨年度産、本年度産)、乾麺、インスタント食品、缶詰、お菓子、調味料など
常温で保存できる食品 ☆特におかず類やカレー(甘口)が提供先に喜ばれます

食品以外

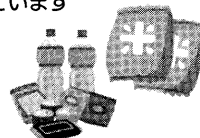
(子ども食堂へ提供します)

調理用手袋、食品用ラップ、ペーパータオル、ハンドソープ

実施期間

令和3年1月16日(土)
～1月31日(日)

※上記期間に限らず年間を通じて
寄贈を受け付けています



【問合せ先】主催：フードバンクおおいた 大分県社会福祉協議会

〒870-0907 大分市大津町2-1-41 電話：097-558-3373 または、大分市社会福祉協議会(大分市ボランティアセンター)

令和2年度 ボランティア活動保険 新型コロナウイルス感染症発病時の取扱いについて

ボランティア活動保険の特定感染症補償に新型コロナウイルスを追加して補償の対象とする改定を行いました、その際の取扱いに関する注意事項についてよくあるご質問(Q&A)をご案内いたしますので、ご参照ください。

よくあるご質問(Q&A)

Q1 新型コロナウイルス感染症を発病した場合の補償の可否判断は?

A1 新型コロナウイルス感染症を発病したかの判断は医師の診断により、また、医療機関の診断や保健所等の判断、クラスターの発生状況や陽性者との濃厚接触の状況等に基づき、判断します。

Q2 新型コロナウイルスに感染しても軽症や無症状の場合の補償は?

A2 PCR検査等によって陽性と判定された場合、「発病」として取扱い、軽症や無症状の場合でも補償します。

Q3 軽症者や無症状者がホテル等の臨時施設や自宅で療養する場合の補償は?

A3 新型コロナウイルスを発病し、医師の指示に基づき臨時施設や自宅等で療養する場合は「入院」とみなして補償します。

Q4 後遺障害が発生した場合の補償は?

A4 医師が作成する後遺障害診断書に基づき、補償します。



Q5 保険加入後、すぐに補償されますか?

A5 保険責任開始日からその日を含めて10日以内(不担保期間)に発病した場合は補償の対象となりません。あらかじめ活動の予定がある場合は、早めの保険加入をお勧めします。

(例) 10月1日に大規模災害のためボランティア活動保険に加入して活動を行い、その活動に起因して10月11日以降に新型コロナウイルス感染症を発病した場合は補償の対象となりますが、10月10日以前に発病した場合は補償の対象となりません。

※大規模特例が適用されている災害ボランティア活動の場合でも対象となりません。

こちらは概要のご案内となります。詳細につきましては「ふくしの保険ホームページ」(<http://www.fukushihoken.co.jp>)をご参照ください。

<取扱代理店>株式会社福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4667 FAX 03-3581-4763 (受付時間: 平日9:30～17:30)

<引受保険会社>損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部第二課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL 03-3349-5137 (受付時間: 平日9:00～17:00)

ボランティア活動保険等についてのお問合せは、株式会社 福祉保険サービスまでどうぞ。

TEL/03-3581-4667 FAX/03-3581-4763 URL <http://www.fukushihoken.co.jp>

ボランティアだより 発行元・お問い合わせ

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホルツホール大分4階

TEL: (097) 547-7419 FAX: (097) 547-9559 E-mail: volun@oita-syakyo.jp

開所日時: 月～土曜日 9時～18時 【ただし、第2・4月曜日(祝日の場合は翌日以降の平日)及び祝日、12月28日～1月3日は除く】